



「虔(つつしみ) 賢(かしこく) 健(すこやかに)」

学校教育目標 『ふるさと・人・命』を大切にし、夢や目標に向かい粘り強く努力する児童の育成
水俣第一小学校長 田村 紀広

3学期スタート

3学期が始まって2週間が過ぎようとしています。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

冬休み中も新型コロナ感染の報告が相次ぎ、始業式の日には全員が登校することはできませんでしたが、大きな事故等もなく3学期をスタートすることができました。

始業式は新型コロナ感染拡大防止のためにYouTubeでの配信で実施しました。その中で、今年の干支にちなんで次のような話をしました。

卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」(家の中にけがや病気がなく平和に暮らせる)を意味しているそうです。

また、その跳び姿から「飛躍」、「向上」を表しているとも言われています。卯という漢字には、草木が地面をおおうようになった様子、きれいに広がった様子を表していることから、大きく成長する年とされており、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。一小の皆さん一人一人が1年間のめあてをたて、新しいことに挑戦してほしいと思っています。

すがた ひやく こうじょう

うさぎのとぶ姿⇒飛躍・向上

ねんかん
1年間のめあてを!!

あたら ちょうせん
新しいことに挑戦を!!

水俣市立水俣第一小学校
Mizumoto Daiichi elementary school

3学期は登校日が52日と1年間で最も短い学期ですが、学年のまとめをしながら、次の学年に向けた準備を行うとても大切な学期でもあります。そのため、3学期は「新年度の0(ゼロ)学期」とも言えます。

また、卒業式をはじめお別れ遠足、持久走大会などの行事も予定しています。1つ1つの行事を大切に、これまで学習したことを確実に定着させ、次の学年に進級してほしいと思っています。そのためにも、この3学期をどう過ごすかは非常に重要です。子供たちに確かな学力をつけるとともに、1年間の目標をはっきりと持って、新しいことに挑戦できるよう、これからも全職員でサポートしていきます。引き続き、ご家庭の協力をよろしくお願いいたします。

2つの文部科学大臣表彰 受賞

昨年末に、本校が2つ文部科学大臣表彰を受賞したという、うれしいお知らせがありました。

「令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰(教職員組織)」と「令和4年度コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」の2つです。

1つ目の表彰は、研究指定校として学校全体で研究と実践を行ったことを現在も継続しており、全職員でより良い授業になるよう取り組みを進めている点が評価されました。

2つ目の表彰は、コミュニティスクールでの学校運営協議会の運営と、たくさんの地域の方に協力していただいている「一小まつり」の取り組みが評価されました。

子供たちと職員が頑張っている日々の授業、また、8年目を迎えた職業体験「一小まつり」という2つの一小の良さが評価されたことを大変うれしく思います。

学校運営協議会では、一小校区の地域安全マップ作りと「こども110番の家」登録という新たな取組を進めていただいています。子供たちがさらに安心安全に学校生活を送れるよう育友会の皆様、地域の皆様に協力いただいていることに心から感謝しています。この2つの表彰を励みに、私たち職員もさらにより良い一小にするために精一杯頑張っています。

朝の風景から

朝、校門に立っていると、たくさんの子供たちが話しかけてくれます。クリスマスの時期はサンタさんのプレゼントのこと、ゲームやテレビのこと、お正月や冬休みの出来事など、私も毎日楽しみにしています。時には、下校中に帽子を飛ばされて困ったこと等、心配する話もありますが、気を付けて下校するよう話をしています。

登校が一段落すると、小運動場では寒さに負けず、たくさんの子供たちがサッカーをしたり、ブランコをしたり、鬼ごっこをしたりと元気に遊ぶ姿が見られます。一日も早くコロナが収束し、学校にも日常が早く戻ってほしいと願う毎日です。

